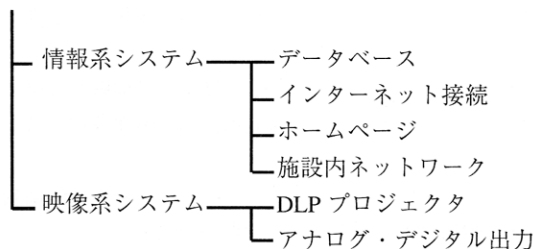


#### 4 システムの構成と主な機能仕様

当センターでは、「埋蔵文化財情報管理システム」を、データベース、インターネット接続、ホームページ、施設内ネットワークなどの「情報系システム」と、デジタルデータ・アナログデータの出力に対応した大型プロジェクタ等の「映像系システム」の総称として定義している。つまり、当システムはデータの蓄積から公開までを一元的に管理するものであり、データの作成から利用までシームレスに運用できるシステムとして構築を図っている。

埋蔵文化財情報管理システム



第1図 システム構成図

#### (1) 埋蔵文化財情報管理システムの主な機能仕様

現在、情報機器関係の技術革新はめざましく、その仕様も驚くほど速いスピードで変化している。したがって、機器の選定に当たっては、現段階で可能な限り汎用的・一般的で且つ信頼性のあるシステム形態の導入を検討する必要があった。

基本的なデータ仕様としては、インターネットに利用できるフォーマットを基本とし、特定のアプリケーションに依存しない型式で作成することとした。ただし、データの加工・編集において作成されるソフトウェア依存のフォーマットに関しては、最終的に汎用型式に変換した上で保存を行うこととした。さらに、今後のデータ量の増大に対応できるように大容量の各種記録媒体の導入を行った。

また、ネットワーク利用を前提としているため、L3スイッチや各種セキュリティ機器によってデータの保全、ウイルス対策を十分に行えるようにした。

本システムではシステムの安定性と利便性等から Microsoft Windows2000 を採用している。平成15年2月現在、システムやセキュリティに関わる重大な問題は発生していない。

情報系システム	
汎用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の共有（ネットワーク化）が容易であること。</li> <li>汎用フォーマットによるデジタルデータを作成・保存し、システム変更等による既存データの再編成は不要であること。</li> <li>一般的なパソコンでの利用が可能であること。</li> </ul>
デジタルアーカイブ インターネット及び イントラネット機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>高精細画像を蓄積・集積し、永久的な活用ができること。</li> <li>専用ネットワーク形式をとらず、普及したインターネットのネットワーク技術を最大限に活用したシステム構成及びシステム間連携を構築できること。</li> </ul>
簡易な入力・蓄積機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像データはスキャナやデジタルカメラ等から直接入力する他、フォトCDやCD-R等のディスクから入力でき、JPEG等の標準フォーマット形式で蓄積できること。</li> <li>効率的にデータベースへの追記・登録が可能であること。</li> </ul>
大容量蓄積機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>大量データをHDD・DVD-RAM及びCD-R/RWへのリード、ライトができること。</li> </ul>
柔軟な検索機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速検索エンジンを利用し、簡易で柔軟な検索ができること。</li> </ul>
埋蔵文化財情報への 対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力画面・管理画面等のカスタマイズが容易であり、埋蔵文化財情報に特化したデータベースの構築ができること。</li> </ul>
運営の柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入後も埋蔵文化財資料の編集・管理に柔軟に対応でき、ユーザ側で情報登録画面・情報検索画面等のカスタマイズができること。</li> </ul>
情報公開への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>独自のホームページが開設できるとともに、公開可能情報についてのインターネット公開が可能であること。</li> <li>「電子掲示板」「メールマガジン」「速報」などのコンテンツ作成によって、積極的な普及・啓発事業の充実を図れること。</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイヤーウォールの設置及びネットワーク構成の工夫によって、外部からの不正なアクセスを防御できること。</li> </ul>
映像系システム	
DLP プロジェクタ	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修室に設置したDLPプロジェクタを利用し、各種研修会等での埋蔵文化財に関する研究及び普及・啓発への活用ができること。</li> </ul>
館内ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>当センターのデータベースへアクセスし、研修室・図書室・研究室において埋蔵文化財情報の検索・閲覧ができること。（職員・一般）</li> </ul>

第1表 機器仕様の観点